環境制御技術の普及促進(案)

現状と課題

次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進に向け、農家の所得向上に直結する技術と して、環境制御技術の早期普及に向けH26から本格的に取り組み開始。

«H26·H27年度»

環境制御技術導入加速化事業

- ・申請は1戸1回限り
- ・上限100万円/1戸
- ・技術革新へのとまどい
- ・身近に取り組んでいる事例が なく、成果が実感できない



⇒スタートダッシュ ができなかった。

【導入状況】	面積及び導入率	H26までの累積 (うち事業実績)	H27までの累積 (うち事業実績)
	全品目	41.2ha (17.9ha)	94.6ha (26.5ha)
	野菜主要7品目	27.7ha (15.0ha)	72.6ha (24.2ha)
	到朱王安/加日	6.5%	11%
	車業宝徳	U26.02 =	1127.222

«H28年度»

環境制御技術普及促進事業

農家、農協、市町村からの多く の要望により

・利用回数等の制限を撤廃 ・補助対象メニューを拡充

H28までの累積見込み (うち事業申請)		
166.6ha (44.7ha)		
139.8ha (39.6ha)		
21%		
409戸		

県内全域で導入に対する機運が高まり、各産地で導入が加速化!

⇒ 目標(25%)達成まで、あと一歩!

【H28事業申請が増加した背景】

①身近な成功事例が増え、農家同士の口コミで事業申請が増加。

<機器設置から増収効果発現までには時間を要す>

H27 1月~ 設置93戸

H26事業 機器の設置が遅く、事業効果がでなかった H27 9月~ 設置233戸 利用 増収効果 H27事業

> 事業効果が明らかとなり始めたのはH28春以降 ※前年度収量と比較可能な112戸で5%以上増収!

②メニュー拡充、1戸1回の撤廃

→継続利用者(先駆者)の関心が高く保て、普及の中心的な役割を担い、産地での広がりにつながった。

③安芸地域で事業申請が増大 → その他地域でも関心が高まり、全域での申請増加につながった。

<事業申請理由・・・H28.6月アンケート調査>

新規事業利用者(回答者164名、複数回答可)

1. すでに導入している農家のすすめ(49%) 2. 近隣農家の成功事例をみて(41%)

継続事業利用者(回答者135名、複数回答可)

- 1. 前回の事業で炭酸ガス発生機を導入。効果が確認できたため、さらなる増収をねらい、細霧装置や 日射比例灌水技術にステップアップ(50%)
- 2. 前回の事業で炭酸ガス発生機を導入。効果が確認できたため、他のハウスへも導入を計画(33%)

H29年度

下記支援事業により、「導入への後押し」を継続!

事業による導入支援がなくなると、普及スピードは失速する。環境制御技術の早期普及 には、導入に対する農家の機運の高まりを維持し、さらに加速化させる必要がある。

- ・H28事業における申請金額は約2億円 → H29目標達成のためには、さらに予算が必要
- 一方で、H28補正の(国)産地パワーアップ事業がH28.10月に決定
 - ⇒ 補助対象メニューはそのままで、H28補正産地パワーアップ事業の活用を検討

【国】 産地パワーアップ事業(牛産支援事業)

- ・リース方式による環境制御機器の導入が可能
 - ○面積要件:施設野菜5ha、施設花き3ha、 果樹10ha (中山間地域等は別途定める)
- ○本体価格(施工費除く)50万円以上のものの 1/2以内を補助

【県】環境制御技術普及促進事業

- ・国費事業に準じた仕組み、補助率へ変更 (地方創生推進交付金の活用を検討)
- ○産地パワーアップ事業要件に該当しないもの の本体価格の1/2以内を補助
- ○補助対象メニューはH28と同様

H29年度の野菜主要7品目で50%を達成するためには、さらなる取り組みが必要である。

継続した取り組みの強化! 環境制御技術普及

促進事業の活用

- (産地パワーアップ事業の活用)
- ·事業 P R
- 説明会:18→30か所 PR用チラシの配布

環境制御技術普及 推進員の活動

- ・未導入農家に対するアプローチ
- ・拡充メニュー増収効果の検証、
- ・マニュアル作成及び活用 19マニュアル

学び教えあう場で の検討会

「学び教えあう場」の増加 ・女性農家を対象にした取り

外部パワーによる 普及促進

新たな取り組み!

農家とつながりの深い集出荷 場、ハウス・農機具・資材メー カー、商系市場等から農家へ ダイレクトに情報提供

その結果 H26補正時の 90% 90 % 環境制御技術の達成目標 · 7 目標達成イメージ 75 % の達成目標 野菜主要7品目 H28~H31 70% での事業効果 (目標) 50% 50 % H28の事業効果 **月標達成!** 30% H26補正、H27 当初の事業効果 10% 環境制御技術の普及を一気に加速化!! H26 H27 **H28** H29 **H31** H30

生産増⇒所得向上⇒担い手の増加の好循環へ!!